

昭和二十二年六月十二日（第三種郵便物認可）
令和六年二月十日発行（毎月一回十日発行）

定価 五〇〇円

第989号

龍

跳

第八十卷

3

月号

高知
龍跳書道会

町田碧峰書

説

真

実

町田碧峰



説真実

薦季直表

鍾繇

使強敵喪膽我衆作氣旬月之間廓清蟻
聚當時實用故山陽太守關內侯季直之策
尅期成事不差豪髮先帝賞以封爵授
以劇郡今直罷任旅食許下素為廉吏

鐘繇と薦季直表

漢末から魏晉へかけて楷書が成立する時期に現れた鐘繇は、王羲之、張芝などと共にその書品は古来最高のものとして尊ばれてきた。薦季直表は、楷書と称されているが、隸書や行意が随所に見られ、それらが渾然と融合して、素朴で親近感をもちながらも、悠然とした中に力感が溢れ、よく安定し、やんわりとした弾力性の中に温かさ、なごやかさが秘められている。

隅田亘心臨

自可背義猷而無失違鐘張而尚工

自可背義猷而無失違鐘張而尚工

亘心臨

塚地桂峰書

閑為水竹雲山主靜得風花雪月權

閑為水竹雲山主靜得風花雪月權

桂峰書

梅
川
桂
龍
書

拈 又
筆 筆
忘 筌

筆を拈れば 又^{また}
筌^{せん}を忘る

2月20日締切

梅
川
桂
龍
書

帶
甲
滿
天
地

帶甲たいこう
天地に満みつ

3月20日縮切

福
原
曉
雲
書

春
風
新
陽

春風新陽を弄す
しゅんぷうしんやう
ろうす

福原曉雲臨

劇郡直罷任今

劇郡今直罷任

門田惠子臨

於高峯山寺受金剛
象灌頂人之磨名

惠子

江西澄翠書

美秀修竹林遊時
流々青山繞屋苔

澄翠



河村容舟臨

菩提薩埵般若波羅
蜜多故心無罣礙

客并法

大崎花梢臨

收五王連乃祿會等
之方為滿於通

永有記

歸上爰開土門土門改
開光威大威賊臣

西山極山

西山極山

有雲陽唐布武伐冠
周反反湯中獨曰

岡本空仁

岡本空仁

披過此法期披雲白
已訪奉此中

中平美峰

中平美峰

仙恩憶望不憚煩勞
移足津赴此院此

深瀬緑堂

深瀬緑堂

送付仙傳共
四學一漢卿入

浜崎洋堂

浜崎洋堂

白雪詠更度采菱
謳縷會玉鱗堆

吉永光翠

吉永光翠

如揭雲霧蕪惠止
觀妙門頂戴供

岩村 祥

岩村 祥

黃川初起燒平城市
斯縣獨企子賤

田村和子

田村和子

如魚軍容階雖開府
官即監門將軍

大井 淳

大井 淳

片言勤王則六合諸侯
一達天下葵丘之會

藤原朱鳳

藤原朱鳳

条幅当選作品 梅川桂龍 選評

★天位

西山極山君 墨量豊かで力感も佳。

岡本空仁君 今回の作、淡々と書いて、やや粒が揃ったかな。

中平美峰君 渴筆を利かし、なかなか大胆なり。

深瀬緑堂君 真面目な臨書。要所々々を良くとらえている。

浜崎洋堂君 墨量を抑え、大胆に臨し佳。

★地位

吉永光翠君 安定した臨書。これに覇気が加われば更に良い。

岩村祥君 風信帖の流れを感じる作。

田村和子君 一生懸命に臨し、好感がもてる。

★人位

大井淳君 真面目な書きぶり佳。益々ご加勉を。

藤原朱鳳君 大胆に臨し、意欲を感じる。

作品は毎月20日必着
(必ず守って下さい)

▷ 次回審査会 ◁

2月の審査は25日(日曜)午前9時30分に開始
します。審査会場は**高知城ホール**です。

※審査会終了後、1頁の古典「薦季直表 鐘繇」の勉強会を行います。

14字～20字までを半折に臨書して、ご持参下さい。(参加費500円)

明快な
答弁

中学一年課題
廣末幽念書

寫真記念

3月20日締切

古
伝
統
い

3月20日締切

小学五年課題

隅田 亘心 書

桃節句の

3月20日締切

が七
ゆ草

小学三年課題

大原桂園書

豆ま

3月20日縮切

らく

3月20日締切

小学一年・ようち・ほいく課題

市原處艸書

した

3月20日締切

小学五年課題 森本寿山 書

学校名										
五年										
級段										
氏名										
	返	り	し	っ	に	ざ				
	し	ざ	お	か	出	し				
	て	ん	風	と	て	き				
	お	ぶ	が	照	み	を				
	っ	り	ふ	り	る	ぬ				
	た	と	き	つ	と	け				
	。		わ	け	、	て				
		波	た	る	お					
		が	り	夏	日					
		寄	、	だ	さ					
		せて	ざ	っ	ん					
		て	ん	た	が					
		は	ぶ	。	か					

学校名						
四年						
級段						
氏名						
	い	ま	ら	ま	て	
	道	し	、	し	、	両
	を	た	女	た	女	手
	通	。	の	。	の	を
	り	キ	子	石	子	ポ
	ま	ャ	は	け	は	ケ
	し	ベ	橋	り	進	ッ
	た	ツ	を	を	ん	ト
	。	畑	わ	し	で	に
		の	た	な	ゆ	入
		細	り	が	き	れ

小学三年課題

野中恵花 書

学校名						
	ふ	な	る	小	な	モ
	り	る	で	屋	豆	チ
三	落	と	っ	の	太	モ
年	と		か	す	が	チ
	し	実	い	ぐ	つ	の
級	て	を	木	前	け	木
段	く		だ	に	た	っ
氏	れ	い	。	立	名	て
名	る	っ		っ	前	の
	。	ぱ	秋	て	だ	は
		い	に	い		

がっこう						
	文	し	た	二		楽
	集	て	で	年		し
	に		き	生		か
二		書	ご			っ
ねん		き	と	心		た
だ	ま	ま	を	に		よ
き	と	し	思	の		っ
ゆう	め	よ	い	こ		
なまえ	て	う	出	っ		
	。	。				

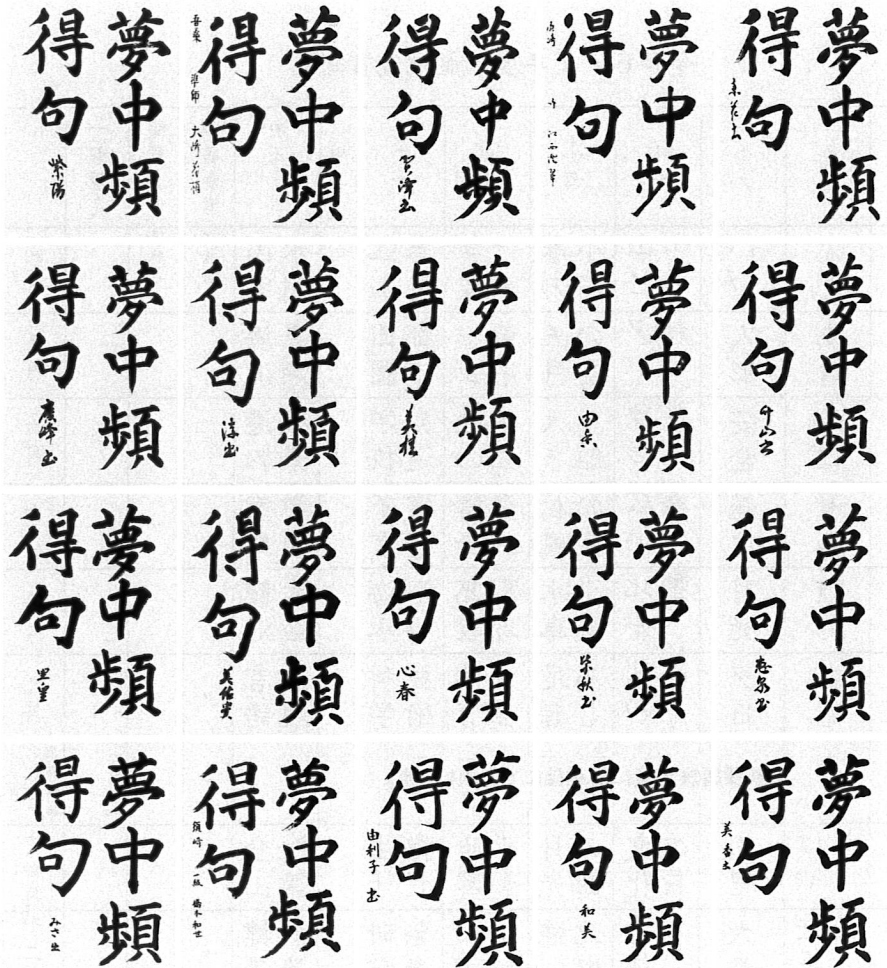
小学二年課題 藤田桂苑 書

がっこう				
	く	ば	ば	
	り	あ	ん	山
— ねん	ぎ	さ		の
きだ ゆうん	よ	ま	小	よ
なまえ	う	も	ば	う
	て		ん	な
	ん	び	に	
	。	っ		大

がっこう				
ほ ねん	ふ	お	こ	お
	く	に	え	お
だ き ゆう なまえ	は	は	で	き
				な
	う	そ		
	ち	と		

令和6・7年度 龍跳競書課題

小一・保	小二	小三	小四	小五	小六	中一	中二	中三・二	臨書参考	随意参考	一般規定	
いか	ふじ	らちか	川山と	小春の	行事校	春江山		水山紫	課題自由	課題自由		四月
みち	あゆ	人形	れタぐ	の五月	習ペン	都市園		黒海流	"	"		五月
たこ	ろば	安全	り魚つ	な大船	木立の	放学校		風景の	"	"		六月
うり	せみ	花火	海広い	の松音	登山士	実不言		学家庭	"	"		七月
なつ	ぼん	月光	星北斗	小水車	野高校	浴海水		大会泳	"	"		八月
そば	むし	夕日	山秋の	高足音	大会育	技科学		表現語	"	"		九月
県展課題決定後に龍跳誌にて発表します。									"	"		県展課題 （こども） 十月
ふえ	しはや	山里	の文化	の月光	平和界	様生活		紅葉山	"	"		十一月
ゆき	ろだん	大雪	み冬休	北強い	山四国	発表究		対策康	"	"		十二月
こま	つこた	きげん	のう花め	の初出	交流化	休冬期		幸福の	"	"		一月
そら	またる	小川の	待春を	正公明	時代年	当給食		話題の	"	"		二月
はる	らさく	ど若み	の山水	見工場	試学力	写記念		抱け大志を	"	"		三月



(一・二段目) 福原曉雲 選評

恵花君 縦画・横画を意識して几帳面。明るく力強い。

澄翠君 明るく力強い。品よく仕上がった。

賀峰君 行意的な作。良くまとまっているが「中」の縦画やや側筆がおしむ。落款左。

花梢君 気力充実したベテランの味わい。練度が高い。

紫陽君 筆勢鋭く、力感を蔵す。

竹山君 規矩整然とした力強い作。(二・三段目) 廣末幽念 選評

由香君 力まなく温和な作。

美桂君 筆力あり充実した作。

淳君 味わいのある線で剛健。

廣峰君 真面目な書きぶりで明るい。恵泉君 伸び伸びとして温かみのある作。

(三・四段目) 野島桂山 選評

紫秋君 軽妙な筆致で安定している。

心春君 堅実な書きぶりに好感がもてる。

美佑貴君 整然として力強さを感じる。

里皇君 規模大きく安定した作。

美香君 穏やかな心で書け、すばらしい作品。

和美君 字々明るく温和な作。(四段目) 大八木洋女 選評

由利子君 線の強さと明るい作品です。

和世君 力強さを感じます。

みさ君 丁寧に書かれています。「書」の研究…。

邦中
復句

手半
輕重

郷里
上遠

下澈鴻
臚初唱

其或膽
劉如鐵

其或膽
劉如鐵

雖法師
中尉

或膽劉
如鐵

南至畧
漏長

由乃
王五

南至畧
漏長

其或膽
劉如鐵

南至畧
漏長

其或膽
劉如鐵

南至畧
漏長

南至畧
漏長

南至畧
漏長

威一觴
一詠

其或膽
劉如鐵

大成
貞孝

(一・二段目) 前田秀華 選評

澄翠君 筆として強く品格のある作。
里華君 無理なく運筆、流れあり。
枝雪君 堅実な書きぶりに好感がもてる。

芳春君 筆がよく暢びている。
竹山君 作品が安定し統一感あり。
美賀君 書譜の線、丸みあり。

大胆にかけている。

(二・三段目) 塚地桂峰 選評
祝子君 筆力あり。まじめな作品。
喜子君 流れ良く、ほのぼのとした作。

理奈君 動き大きく、筆力あり。
幸子君 力みなく、明るい作。

順子君 思い切り良く堂々とした作。

(三・四段目) 西山極山 選評

美邦君 柔らかい線に筆力を感じる。

倫子君 温和な線で安定した作品。

美香君 力みなく落ちついた作品。

久美子君 切れ味のよい線で筆力を感ずる。

明美君 のびやかな線がよく動いている。

房君 原帖をよくとらえている。

臨書の場合は〇〇臨と書いて下さい。

(四段目) 武内美仁 選評

美枝君 緩急があり、スケール大きい臨書です。

和世君 筆圧もよく利いて、安定している。

千賀君 厚みのある線で好感がもてる。

の成人
四年 大城リサ

（四段目）ハシ四全 佐々木淳在 還言

一三

–31–

小高坂 川西 康介
佐古 田村けんご

いろいろな言葉がある
とき、同じとくちうを
もつものをまとめると、
全体をいくつかの集まり
に分けることができます
分類といえます。

いろいろな言葉がある
とき、同じとくちうを
もつものをまとめると、
全体をいくつかの集まり
に分けることができます
分類といえます。

いろいろな言葉がある
とき、同じとくちうを
もつものをまとめると、
全体をいくつかの集まり
に分けることができます
分類といえます。

いろいろな言葉がある
とき、同じとくちうを
もつものをまとめると、
全体をいくつかの集まり
に分けることができます
分類といえます。

須南 田中 碧空
浦ノ内 中平 滯里

すさき 毛利 香花
すさき 田村 紗雪

モンゴルに、馬頭
琴というが、きがあ
ります。が、きのい
ちばん上が、馬の頭
の形をしています。

モンゴルに、馬頭
琴というが、きがあ
ります。が、きのい
ちばん上が、馬の頭
の形をしています。

モンゴルに、馬頭
琴というが、きがあ
ります。が、きのい
ちばん上が、馬の頭
の形をしています。

モンゴルに、馬頭
琴というが、きがあ
ります。が、きのい
ちばん上が、馬の頭
の形をしています。

江ノ口 下村 あみい
お知 ふじさき かの

くれ 黒原 小春
すさき 金どう ずず

モンゴルに、馬頭
琴というが、きがあ
ります。が、きのい
ちばん上が、馬の頭
の形をしています。

目の まえに、
ぼっかり、まっか
な花が、さいて
いたのです。

目の まえに
ぼっかり、まっか
な花が、さいて
いたのです。

目の まえに
ぼっかり、まっか
な花が、さいて
いたのです。

かみぶん よしむらはるか
しんじよう中じま あやと

うらノ内 とく永はや斗
うらノ内 おか林ゆい花

目の まえに、
ぼっかり、まっか
な花が、さいて
いたのです。

目の まえに、
ぼっかり、まっか
な花が、さいて
いたのです。

どんぐりが
ころころ
いけのなか
あそう ぼく

どんぐりが
ころころ
いけのなか
あそう ぼく

あそう うめばら ゆま
うらノうち よしおかまひろ

出品票の名前は楷書ではっきり書いて下さい。

★出品票は黒枠をきちんと切って下さい。
★臨書は出典名を記入のこと。

★二級	馬路 ○川内みさ	★三級	馬路 ○芝 沙織	★五級	山田 ○尾立千賀	隨意	審査 前田 秀華	★師範	江西澄翠 岩河里華 山下枝雪 山下極山 弘田賀峰 中平幸仙 野中恵花 中平美峰 深瀬緑堂 岡林邦心 浜崎洋堂 大原桂園 奥堂皓月 河村容舟 岡本空仁 大八木洋女 野島桂山											
矢野峰臣 水田紅子 市原處紳	★準師範	池 芳春 岩崎竹山 大野美賀 森光望春 氏原美泉 門田恵子 松浦明子 西内仁子 吉田深美 山本恵歩 田村和子 小野山美喜 高橋桜芳 天野喜泉 桑原智泉 西森令泉 岡田雄山 平井桂草 高橋朱鳥 西村芳香 丸田宏子 大平圭子 井口花道 戸田孝北 萩野羽花 秋野春花 藤原朱鳳 窪田碧泉 畝原和華	★四段	濱田順子 西森啓助 横山星舞 高橋翠園 山崎隆志 久保地初恵	★五段	浪上理奈 濱田幸子 大井 淳 亀井司郎 笠原多嘉 鈴木輝代 岡林 翠	★六段	橋本祝子 利谷喜子 山川百合 伊吹悠道 下元玉泉 田村眉州 岡村妙慧 坂本碧香 岩村 祥 岩谷紅花	山中紅風	審査 塚地 桂峰										
審査 西山 極山	★三段	杉本美邦 坪内倫子 西岡仁陽 横田紫秋	★二段	森澤美佑貴	★初段	市川美香 吉村久美子 西尾明美 山本 房 前田仲枝 高橋美草 大原紀美子 藤原勝子 掛水勝恵 中内泰子 根口千裕	★一級	武内 美仁 松坂美枝 橋本和世 川崎志津 駒崎真実	須南 前田真音	★九段	上分 弘田せいな									
★五級	○尾立千賀	第884回毛筆成績 ○印は昇級			中学部	審査 岡林 邦心	二年	★特待生	小松諭実	★九段	竹内雄星	南	★九段	長岡 森田千春	★九段	長岡 安井風葵 岡豊 岡上真里 長岡 猪野雛子	★八段	上分 西森美陽	★六段	池川 藤原乙羽 岡豊 西田紗菜
★四段	馬路 小松わと	★初段	別府 佃 柚汰	★一級	別府 藤原杏実 越知 片岡絢女	★三級	越知 ○米澤知那 池川 ○鈴木悠斗	毛筆五年	審査 奥堂 皓月	★九段	多ノ郷 森光陽菜	★八段	浦ノ内 宮地輝翔 新莊 鍋島 綜	★七段	長岡 押岡風佳					

★六段 長岡 二宮嘉奈子 長岡 高芝仁貴 多ノ郷 森岡快晴 上分 弘田美結 上分 朝比奈来夢	★五段 須南 宮本里依羽	★一級 池川 須崎杜海 上分 藤崎稀衣	★二段 吾桑 梅原蒼菜 岡豊 田所萌羽	★初段 岡豊 中司こころ	★一級 別府 後藤 樹	★六段 上分 小松のぞみ 上分 梅原百叶 須崎 松田菜乃 須南 前田来音 須崎 谷口桜心	★五段 池川 鶴井香月 長岡 宮脇改太
★四段 長岡北村さくら子 岡豊 西宮咲希 岡豊 島村倅空	★三段 長岡 竹内陽南子 上分 田邊璃音 須崎 田村拓海 池川 藤崎杜真 上分 柳本稀衣	★二段 須崎 金堂莉李 馬路 小松太緒 須南 田中碧空 吾桑 松坂美緒音 吾桑 高橋そら 須崎 津野聖佳	★二段 浦ノ内 宮地舜翔	★初段 夜須 清藤 蘭	★一級 長岡 小笠原 湊 長岡 西内明利 吾桑 宮崎穂花	★六段 長岡 森田実咲 小高坂 川西康介	
★五段 夜須 西村朝陽	★四段 佐古 田村けんご	★三段 須崎 金堂莉李 馬路 小松太緒 須南 田中碧空 吾桑 松坂美緒音 吾桑 高橋そら 須崎 津野聖佳	★二段 浦ノ内 宮地舜翔	★初段 夜須 清藤 蘭	★一級 長岡 小笠原 湊 長岡 西内明利 吾桑 宮崎穂花	★八級 上分 ○中山ゆめ	
もうひつ二年 審査 大原 桂園	★四段 須南 西村太希 須崎 毛利香花	★三段 須崎 田村紗雪 須南 正木芳尚 須崎 領木あみ	★二段 上分 梅原未来	★初段 池川 藤崎菜央 岡豊 島村心遥 長岡 竹内伽菜心 多ノ郷 太田朋希 長岡 押岡息吹	★一級 長岡 宮脇治太	★五級 吾桑 長山ゆうな	
★八級 越知 ○藤崎かの	★二段 須崎 金堂すず	★初段 上分 吉村はるか 須南 宮本はるま	★二級 上分 はしだいちか	★三級 吾桑 高橋いぶき 朝倉 根口この花	★四級 須南 田中にこ しんじよう 中じまあやと	★五級 須崎 谷口きずな	
★六級 岡豊 ○しま村あさひ 岡豊 ○にしみやとうま 岡豊 ○中司みのり	もうひつ ようち・ほいく	★一級 吾桑 松坂のぞみ	★六級 上分 なかじまゆいと				

低学年の生徒名も5字迄に。出来るだけ漢字を使用して下さい。

のり代		地名	氏名	段	級	のり代		6年 3月 随 意	臨は 出典名						
6年 3月 規	氏名					6年 3月 隨 意									
第683回硬筆成績															
○印は昇級															
硬筆六年															
硬筆五年															
硬筆四年															
硬筆三年															
硬筆二年															
硬筆一年															
硬筆初級															

上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里

上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里

上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里

上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里

上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里

上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里

上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里

上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里

上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里

上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里

上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里

上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里

上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里

上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里

上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里

上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里

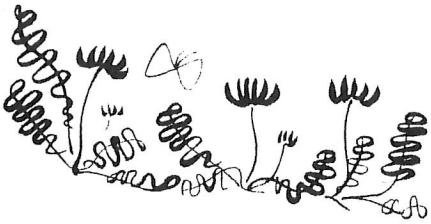
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦 岡本乃介	★八段	越知 越知 岡豊	片岡絢女 米澤知那 岡上真里
上分 長岡 長岡 浦ノ内 浦ノ内 須崎久保田湧乃介	西森美陽 安井風葵 猪野雛子 池田穂乃 岡本睦			

筆・硯・墨・古法帖・墨液・画仙紙
書道用具萬般乞来店

(株) 

高知市南宝永町14-18
TEL (代) (882) 1394番
夜間・TEL (882) 1392番

(出品票) 低学年の生徒名も5字迄に。出来るだけ漢字を使用して下さい。

のり代		★八級 浦ノ内 ○中平ゆうだい ★十級 須崎 ○こんどうこな	
6年 3月 毛筆			
校名	学年		
保年			
氏名			
段級			

のり代		中国文房四宝 国産書道用品 久保田号銘筆 衛 筆 堂 〒780-0818 高知市宝永町3-3 TEL (088) 882-1454 FAX (088) 884-7413	
6年 3月 硬筆			
校名	氏名	有限 会社	
段級			

令和六年三月号からの規定課題

（杜甫「送遠」）

〔大意〕

帶甲滿天地
胡爲君遠行
親朋盡一哭
鞍馬去孤城
草木歲月晚
關河霜雪清
別離已昨日
因見古人情

帶甲 天地に満つ
胡爲れぞ 君 遠行する
親朋 一哭を尽くし
鞍馬 孤城を去る
草木 歲月晚く
関河 霜雪清し
別離は已に昨日
因つて見る古人の情

甲冑をつけた戦士が天地に満ちあふれて
いる時、

君はどうして遠くへ旅立つのか。

見送りの親戚や友人がひとしきり泣くと、

君は鞍をのいた馬に乗って去っていった。

草木も枯れて今年もおしつまった。

行く先々の山や川には霜がおき、雪が冷
たく積もっているだろう。

「君との別れは昨日のように思える」

という昔の歌があるが、昔の人の気持ち
がしみじみとわかる気がする。

連絡・問い合わせ・送り先等

・新規入会申込と会費の送金先

・「龍跳誌」冊数変更の通知先

〒781—1501 吾川郡仁淀川町大崎一三三一

隅田亘心

龍跳誌送付 兼崎口盛雄

01690-3-31925
電話（〇八八九）三五〇〇九七一番

・月例作品の送り先

〒783—0081 南国市片山四九〇

西山極山

電話（〇八八）八六五—八八五七番

・「龍跳誌」の内容について

〒781—7412 安芸郡東洋町河内三〇四

福原暁雲

電話（〇八八七）二九—二六五〇番

・編集についての連絡先

〒785—0010 須崎市鍛冶町六一八

江西澄翠

電話（〇八八九）四二—三〇六七番

・送本についての連絡先

（冊数の相違等については当方へご連絡下さい。）
〒785—0055 須崎市大谷二〇四

野中恵花

電話（〇八八九）四七—〇七二一番

あとがき

昨年暮れに、大黒仙雲先生が鬼籍に入られた。龍跳創成期を生きた先達がまたお一人減った。仙雲先生の記述によると「先生（子雀）のユニークな味のある楷書に憧れて入門し、直接指導を受け（中略）入門当時より古法を力説されオーソドックスな書法を熱心にご指導くださいました。又先生の独特のパターンである、あの顔真卿の方筆とダイナミックな書法を基調にして、洒脱さの加わった行章体に魅せられて永い間書いた。」龍跳創刊四十周年記念誌より書かれていますように、その「子雀先生の書法の魅力」を、私たちにも伝えたい一心で創作してこられた方に思えてならない。トレードマークのベレー帽姿の仙雲先生に今でも、筆の動きを注意されそうな気がします。

少し前の高知新聞「現論」に京大名誉教授・佐伯啓思さんの「幼児化が招く文化喪失」というコラムが載っていた。今日では「若いこと」が価値を持つ。言い換えれば「新しいこと」が価値を生む。経過した時間が長ければ、それだけで、人も物も使用期限切れになってしまふ。かつては、あたかも水滴がたまるように、経験や知識の蓄積を可能とする、ゆつたりと流れる時間が大事であった。今日では、経験や知識の蓄積などは余計なものであり、時代の変化に対する軽やかな反応こそが価値の源泉になる（中略）これはエンタメ文化だけのことではない。あらゆる分野で見られることで、今日の文明の陥った「幼児化」といふべきものであろう……。なるほどそういう時代なのか今は。

日々稽古により技術を磨き精神を鍛える、また結果よりもその過程が大切ともされる伝統文化である書道、そのすそ野を広めていくことはなかなか難しそうです。

月例競書課題

部別	縮切日	
	三月二十日	四月二十日
一般条幅	任意	任意
半紙規定	帶甲滿天地	胡爲君遠行
半紙隨意	任意	任意
中学三年	明快な答弁	山紫水明
二年		
一年	記念写真	江山春色
小学六年	古い伝統	学校行事
五年	桃の節句	春の小川
四年	七草がゆ	山と川
三年	豆まき	ちから
二年	さくら	ふじ
一年	した	いか
保育		

会費の送金について

会費：半年分 3,000円 / 1年分 6,000円

1ヶ月の龍跳誌郵送料

(幸便搬送の方は干料不要)

11冊以上は次の計算による。(1ヶ月分)

①	1冊～3冊	80円
②	4冊～8冊	150円
③	9冊・10冊	210円

〈例〉 12冊 ①+②=290円×月数

17冊 ①+③=360円× "

30冊 ③×3=630円× "

◎会費と龍跳誌干料は原則として半年分または1年分前納のこと。

◎送金は次の何れかへ

・〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎133-1 隅田亘心
 ・振替口座番号 01690-3-31925 龍跳書道会
 (お問い合わせ) ☎0889-35-0971

○月号(○冊)より○月号まで○ヶ月分

誌代 ○円 / 干料 ○円

と記入のこと。

編集室

福原 曉雲

野島 桂山

江西 澄翠

中平 美峰

発行人

福原 曉雲(本部)

安芸郡東洋町河内三〇四

電話(〇八七) 二九一二六五〇

発行所

龍跳書道会

電話(〇八七) 二九一二六五〇

印刷所

(有)笹岡印刷所

須崎市東古市町二一六

電話(〇八七) 四二二〇二四四

月例作品送り先

〒783-0081 南門市片山四九〇

西山極山宛

電話(〇八八) 86518857